

●卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としています。

この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げています。

- ① 大きな志をもって真理を探求し、高い品性と深い英知を備えた人物
- ② 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物
- ③ 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現されます。

- ① 物事を公平にみる力
- ② つながる力
- ③ 実行する力

本学では、基本的にこれら3つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与されます。

外国語学部

【英語コミュニケーション専攻】

- ◎外国語の運用能力と「英語学」「英語教育」「異文化コミュニケーション」等の知識を統合した教養を実践的に活用できる
- ・「英語学」「英語教育学」「コミュニケーション学」の知識を理解し、適用することができる
- ・英語を実践的に運用できる
- ・英語で論理的、分析的、批判的に思考し、表現できる
- ・英語で他者と積極的にコミュニケーションをとり、協調・協働して行動できる

【英語・リベラルアーツ専攻】

- ◎外国語の運用能力と文化・社会・歴史等の知識を統合したグローバルな教養を実践的に活用できる
- ・文化・社会・歴史の知識を理解し、適用することができる
- ・英語を実践的に運用できる
- ・英語で論理的、分析的、批判的に思考し、表現できる
- ・他者を理解し、他者と協働して課題を発見し、解決することができる

【ドイツ語・ドイツ文化専攻】

- ◎ドイツ語を駆使して情報を分析し、異文化とその多様性を理解し、自ら主体的に周囲と関わりながら問題解決にあたることができる
- ・人は一人ひとり違うことを認識し、違う考え方や文化を尊重する姿勢をとることができる
- ・複雑な課題について、さまざまなアイデアを持ち寄り、協力してなんらかの解決策を生み出すことができる
- ・慣習にとらわれることなく、何が重要なのか物事の本質を追究しながら、自分で考え自ら行動できる
- ・自分の意見や考えをドイツ語で表現でき、相手の意見や提案も尊重しながら、信頼し合える仲間を作ることができる

【中国語専攻】・【中国語・グローバルコミュニケーション専攻】 ※2020年度より改称

- ◎中国語の実践的な運用能力と中国・中国語圏に関する歴史文化や社会経済の知識を活用し、円滑なコミュニケーションを図ることができる
- ・中国語や中国に関する知識を理解し、適用することができる
- ・中国語を実践的に運用できる
- ・論理的、分析的、批判的思考を展開し、活動に生かすことができる
- ・中国語で他者と積極的にコミュニケーションをとり、協調・協働して行動できる

【日本語・国際コミュニケーション専攻】 ※2019年度入学生卒業まで

◎実用的・実践的な「言語運用技術」と、「自己理解の学」としての「日本語・日本文化」に関する専門的知識、および他者理解と自己理解の表裏一体性を知るための「多文化共生メソッド」の習得ができる

- ・日本語・日本文化に関する専門知識の修得を通じ、自明視している「自分たちの事（思考様式や論理の特徴）」を深く知ることができる
- ・日本語を効果的に運用できる
- ・英語を実践的に運用できる
- ・自己理解と他者理解の表裏一体性を理解し、他者との共生ができる

【国際交流・国際協力専攻】 ※2019年度入学生卒業まで

◎外国語の運用力、異文化理解と技術、国際支援・協力の知識と技術等を実践的に使用できる

- ・国際交流・国際協力・観光の実践的な知識と技術を活用できる
- ・英語・第二外国語を用いて積極的に意思疎通を図ることができる
- ・社会的課題を特定し、解決策を提案することができる
- ・他者の痛みを理解し、異文化に共感し、共に生きる道を見出すことができる

経済学部

【経済専攻】

- ◎経済社会で起こる問題の本質をつかむことができる
- ・経済社会の地域性・多様性を理解できる
- ・経済社会をグローバルな視点から理解できる
- ・モデルを用いて分析できる（経済社会を抽象的・定量的に分析できる）
- ・経済社会を経済学に基づいて論理的に思考できる
- ・他者と協働して経済社会の課題を発見し、解決することができる

【観光・地域創生専攻】

- ◎経済活動としての観光を多面的にとらえ、地域活性の方法として企画・運営できる
- ・経済学の基礎を身に付け、地域や観光を科学的に考えることができる
- ・観光サービスが地域に与える経済的影響を理解し、効果を測定することができる
- ・日本の各地域や地方都市が抱える課題を理解し、政策効果の高い事業を企画することができる

【経営専攻】

- ◎「よき経営人」として、他者と上手く連携し、組織をマネジメントできる
- ・経営学の基本的知識を理解し、現実を経営学の枠組みで捉えることができる
- ・実務を行っていくうえで必要な専門的スキルを十分に発揮できる
- ・現実の経営を分析して課題を発見し、その解決策を考えて伝えることができる
- ・経営上の倫理的問題を把握し、他の問題との関連を考慮しながら、解決できる

【AI・ビジネス専攻】

- ◎AI技術をビジネス・金融分野に応用できる
- ・経営学の基本的知識を理解し、現実を経営学の枠組みで捉えることができる
- ・金融機関や金融市場・証券市場の役割、投資に関する意思決定について、本質を理解し論理的に説明できる
- ・データサイエンスを理解し、ビジネスへ効果的に活用することができる
- ・経営やAI活用における倫理的問題を把握し、他の問題との関連を考慮しながら、解決できる

【スポーツビジネス専攻】

- ◎スポーツビジネスを企画・運営できる
- ・経営学の基礎的な理論を理解し、現実の問題解決に適用できる
- ・スポーツビジネスに必要な知識を理解し、現実の問題解決に活かすことができる
- ・スポーツビジネスに必要なスキルを習得し、活用できる
- ・スポーツビジネスにおける倫理的問題を理解し、自ら考えることができる

【グローバル人材育成専攻】 ※2019年度入学生卒業まで

◎グローバル社会を生き抜くことができる

- ・グローバル社会を多面的に理解できる
- ・グローバル社会で、英語でコミュニケーションができる
- ・グローバル社会の問題を実証分析できる
- ・グローバル社会を経済学・経営学に基づいて論理的に思考できる
- ・グローバル社会の一員として、倫理観をもって実践的に行動できる

【会計ファイナンス専攻】 ※2019年度入学生卒業まで

◎会計ファイナンスの本質をつかむことができる

- ・金融機関や金融市場・証券市場の役割、投資に関する意思決定について、本質を理解し論理的に説明できる
- ・企業の資金の流れを把握し、経営活動を会計的に測定することができる
- ・現実の企業経営について理解し、企業経営におけるITの活用について論理的な見解を持つことができる
- ・他者と協調・協働して、家計・企業における会計ファイナンスの諸問題を理解し解決することができる

国際学部

【日本語学・国際コミュニケーション専攻】

- ◎「Japan Studies」「多文化共生」「国際関係」に関する専門知識をつなぎ、社会で実践的に活用することができる
- ・日本語の高度な言語運用技術を身に付け、効果的に情報を認識・発信することができる
- ・英語および第二外国語（ドイツ語、中国語、韓国語）を用いて、積極的に意思疎通を図ることができる
- ・日本語や日本文化について専門的に学び、“自分たち（日本）”を世界に発信することができる
- ・自己理解と他者理解の表裏一体性を理解し、多様な価値との真の共生の可能性を探ることができる

【国際交流・国際協力専攻】

- ◎多文化共生の考え方にに基づき、国際協力・国際交流の知識と外国語の技術を活用し、実社会で自ら考え、行動することができる
- ・国際交流・国際協力の実践的な知識と技術を活用できる
- ・英語および第二外国語（ドイツ語、中国語、韓国語）を用いて、積極的に意思疎通を図ることができる
- ・社会的課題を特定し、解決策を提案することができる
- ・他者の痛みを理解し、異文化に共感し、共に生きる道を見出すことができる

【グローバルビジネス専攻】

- ◎英語の運用技術と経済・経営および国際地域・国際関係に関する専門知識を、グローバルビジネスの現場で実践的に活用することができる
- ・グローバル社会の共通言語たる英語を用いてコミュニケーションができる
- ・グローバル社会を経済学・経営学に基づいて多面的に理解し、その問題を実証分析できる
- ・グローバル社会の一員として、倫理観をもって実践的に行動できる

<大学院>

言語教育研究科

◎言語教育研究科は、「知徳一体」の建学の理念のもと、仁愛の精神をもった教育者、研究者、実務家の育成を期し、よりよい平和な社会の構築に貢献できるように、以下のような学位授与の方針を定めています。

- ・人間社会形成の最も重要な基盤である言語、文化、教育について深く理解し、その多様性をみすえたグローバルな視点から物事を客観的・実証的に考えることができる
- ・言語、文化、教育などの分野で解決すべき問題を発見し、その解決方法を自ら探求して理論的・実践的展開を図り、それを社会に発信することができる
- ・言語、文化、教育などの分野の専門家として、グローバル社会における教育力・指導力を発揮できる

経済研究科

◎経済研究科は、「知徳一体」の体現を目指し、「知」＝経済・経営学、「徳」＝人として進むべき道、の両方を理解し、社会にとって有為な人材を育成することを目的としています。

そうした人材を育成するために、本研究科では、所定の単位以上を修得し、かつ研究指導を通じて次に掲げるような各専攻・課程の目標を達成し、論文審査に合格した者に学位を授与します。

【経済学専攻】

- ・人間性・道徳性に適合する経済活動の原理を探求することができる
- ・グローバル化によるダイナミックな構造変化を、理論的かつ計量的に分析することができる
- ・先端的な経済学の領域において、国際的な視野に立って先導的な研究ができる
- ・経済における人間性・地域文化を重視できる

【経営学専攻】

- ・国際的視野を持ち、複雑な社会状況を読みぬき、問題解決を図ることができる。
- ・国際的な視点に立って先導的な研究を行うことができる。
- ・現代社会の要請に応えた学際志向、問題志向、政策志向を持つことができる。
- ・公共機関、企業、NPOなどで高度な専門性を生かして管理業務を担うことができる。

【経済学・経営学専攻 博士課程】

- ・研究者として自立して活動するために必要な高度の能力とその基盤となる学識を身につけている。
- ・高度な専門業務に従事するために必要な高度の能力とその基盤となる学識を身につけている。
- ・提出された博士論文の成果の学術的、または実務的貢献が大きい。

学校教育研究科

【道徳教育研究専攻】

- ◎道徳教育についての優れた実践的指導力を身につけた教員として指導ができ、深い専門的学識を持った研究者として研究ができる
- ・道徳教育や道徳科のよりよい在り方を探究することができる
 - ・道徳教育を通じて学校の教育力を高める指導ができる
 - ・道徳教育の本質的な理解に基づく道徳科の高度な実践を行うことができる
 - ・教員及び研究者としての自己の品性を磨こうと前進することができる